

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2026年 4月 10日	
(あて先) 旭川市長	
提出者	
住 所 旭川市近文町20丁目1120番23	
氏 名 株式会社ヤマザキ 旭川工場	
工場長 杉本 正美	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0166-76-1120	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ヤマザキ 旭川工場
事業場の所在地	旭川市近文町20丁目1120番23
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：食料品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 43億
③ 従業員数	246名（正社員：115名 パート他131名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 工場長 (処理計画作成担当) → 製造部 (食物残差、廃棄物排出) → 工務部 (廃棄物管理) → グリーンテックス株式会社 (構内外注：廃棄物処理担当)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	3841 t	t
	（これまでに実施した取組） 製造ライン効率化 (歩留まり向上、ロス低減) 原材料の安定化 (鮮度保管体制) 廃プラの分別 (再利用品)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	3572 t	t
	（今後実施する予定の取組） 製造ライン効率化 (歩留まりの向上、ロス低減) 原材料の安定化 (鮮度保管体制) 廃プラの分別 (再利用品) 7%の削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	野菜残渣	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	145 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	135 t	t
	(これまでに実施した取組) 野菜残渣脱水による野菜残渣の脱水(能力20%脱水)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	野菜残渣	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	144 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	133 t	t
	(今後実施する予定の取組) 野菜残渣脱水による野菜残渣の脱水(能力20%脱水) 脱水機能力向上1%		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

※排出量

※再生処理量

2025年度 株式会社ヤマザキ旭川工場 廃棄物処理一覧表（月別）

《廃棄物集計表》

		4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	通期計
産業廃棄物	動植物残さ													
	アンビエンテ／野菜残さ(堆肥化)	70,160	57,830	70,600	57,850	49,160	53,010	56,200	58,650	77,940	79,190	96,790	67,840	795,220
	アンビエンテ／南瓜(破碎堆肥化)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	馬場農場／南瓜ワタ・皮・芋皮・人参(飼料化)	49,307.5	52,707.5	50,170.5	47,272.5	43,990.0	50,777.5	41,360.0	40,014.5	46,842.5	42,032.5	29,480.0	34,895.0	528,850.0
	馬場農場／芋皮・玉ねぎ外皮(飼料化)	122,580.0	128,225.0	115,950.0	116,880.0	106,780.0	105,925.0	117,230.0	100,605.0	113,620.0	106,115.0	104,940.0	111,815.0	1,350,665.0
	小計	171,887.5	180,932.5	166,120.5	164,152.5	150,770.0	156,702.5	158,590.0	140,619.5	160,462.5	148,147.5	134,420.0	146,710.0	
	グリーンテックス／南瓜(堆肥化試験)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	《小計》	413,935.0	419,695.0	402,841.0	386,155.0	350,700.0	366,415.0	373,380.0	339,889.0	398,865.0	375,485.0	365,630.0	361,260.0	2,674,735.0
	汚泥													
	脱水汚泥	36,170	34,370	29,900	38,010	38,110	33,240	26,010	34,220	34,120	41,830	52,740	52,770	451,490
	野菜前室焼却汚泥	6,480	6,320	5,850	5,600	6,700	39,160	6,840	6,480	4,780	6,200	20,540	17,940	132,890
	《小計》	42,650	40,690	35,750	43,610	44,810	72,400	32,850	40,700	38,900	48,030	73,280	70,710	584,380
	廃プラ													
	廃プラ(焼却)	7,110	7,240	6,710	6,600	6,190	6,430	6,460	5,510	8,300	5,610	5,430	6,230	77,820
	廃プラ(破碎)	210	210	210	230	210	220	230	200	230	200	200	220	2,570
	廃プラ(スタイロフォーム)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	混合廃棄物	1,040	1,130	2,950	1,080	380	390	520	870	460	620	1,970	520	11,930
	《小計》	8,360	8,580	9,870	7,910	6,780	7,040	7,210	6,580	8,990	6,430	7,600	6,970	92,320
	廃油													
	グリスビット	33,410	41,280	32,090	34,210	42,810	31,300	40,710	34,410	33,270	33,690	33,870	34,080	425,130
	豚脂	4,900	5,010	4,770	4,870	5,180	4,230	3,440	2,450	7,240	5,400	4,880	2,350	54,720
	鉱物油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	0	350
	《小計》	38,310	46,290	36,860	39,080	47,990	35,530	44,150	36,860	40,510	39,090	39,100	36,430	480,200
	その他													
	木くず	800	320	530	1,630	1,180	700	1,070	720	750	490	520	620	9,330
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20	0	40
	塩ビ(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	蛍光管(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	10	0	10	0	0	0	0	20	0	0	0	40
	《小計》	800	330	530	1,640	1,180	720	1,070	720	770	490	540	620	9,410
産業廃棄物計		504,055	515,585	485,851	478,395	451,460	482,105	458,660	424,749	488,035	469,525	486,150	475,990	3,841,045
有価回収	段ボール(kg)	7,550	7,600	9,080	6,770	7,570	7,560	7,800	6,900	7,630	7,070	6,870	8,900	91,300
	鉄くず(kg)	1,020	0	820	590	0	870	0	560	640	0	0	1,140	5,640
	廃食油(kg)	0	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,800
	揚廃油(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	《小計》	8,570	9,400	9,900	7,360	7,570	8,430	7,800	7,460	8,270	7,070	6,870	10,040	98,740
事業系一般廃棄物	可燃ごみ(m)	9.0	10.7	10.3	9.8	9.4	10.5	10.4	9.5	10.7	9.1	9.4	9.9	118.7
	不燃ごみ(m)	0.9	2.0	2.0	2.5	2.4	2.7	2.7	2.4	2.7	2.4	2.4	2.7	27.8
	缶(m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペットボトル(m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	《小計》	9.9	12.7	12.3	12.3	11.8	13.2	13.1	11.9	13.4	11.5	11.8	12.6	146.5
総合計		512,634.9	524,997.7	495,763.3	485,767.3	459,041.8	490,548.2	466,473.1	432,220.9	496,318.4	476,606.5	493,031.8	486,042.6	3,939,931.5

株式会社ヤマザキ旭川工場 廃棄物処理一覧表（年別）

《廃棄物集計表》

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
産業廃棄物	動植物残さ											
	アンビエンテ／野菜残さ(堆肥化)	2,077,490	2,128,490	2,237,170	1,255,550	1,344,670	1,355,700	1,590,930	1,457,920	1,430,340	1,355,770	795,220
	アンビエンテ／南瓜(破砕堆肥化)	0	0	0	151,150	301,400	136,400	32,540	0	0	0	0
	田村ファーム／野菜くず(飼料化)	395,850	431,940	482,600	509,660	92,020	0	0	0	0	0	0
	中原養豚場／野菜くず(飼料化)	123,460	39,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	馬場農場／南瓜ワタ・皮・芋皮・人参(飼料化)	0	0	24,240	1,194,313	1,245,015	1,269,475	528,520	726,270	812,335	690,510	528,850.0
	馬場農場／芋皮・玉ねぎ外皮(飼料化)	0	0	0	0	0	0	827,710	878,315	850,885	1,348,720	1,350,665
	グリーンテックス／南瓜(堆肥化試験)	0	0	423,110	227,770	442,840	927,770	0	0	0	0	0
	《小計》	2,596,800	2,599,980	3,167,120	3,338,443	3,425,945	3,689,345	2,979,700	3,062,505	3,093,560	3,395,000	2,674,735
	汚泥											
	脱水汚泥	471,760	454,830	354,660	327,980	328,210	336,270	347,840	413,860	440,390	417,280	451,490
	野菜前室焼却汚泥	0	0	0	36,230	101,330	83,230	82,610	103,020	93,970	84,040	132,890
	《小計》	471,760	454,830	354,660	364,210	429,540	419,500	430,450	516,880	534,360	501,320	584,380
	廃プラ											
	廃プラ(焼却)	77,790	71,590	85,370	93,340	88,980	77,140	76,780	80,490	74,750	84,760	77,820
	廃プラ(破砕)	7,300	6,100	5,040	4,270	3,670	3,000	3,080	3,110	2,590	2,570	2,570
	廃プラ(スタイロフォーム)	0	0	0	0	0	0	20	10	0	0	0
	混合廃棄物	1,130	9,810	8,080	13,430	9,490	7,710	21,430	9,930	10,390	6,250	11,930
	《小計》	86,220	87,500	98,490	111,040	102,140	87,850	101,310	93,540	87,730	93,580	92,320
	廃油											
	グリスビット	302,000	304,420	330,330	338,030	424,270	456,220	458,140	474,580	488,700	473,840	425,130
	豚脂	96,740	78,150	79,160	55,400	42,090	33,100	34,090	50,710	97,490	73,440	54,720
	鉱物油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320	350
	《小計》	398,740	382,570	409,490	393,430	466,360	489,320	492,230	525,290	586,190	547,600	480,200
	その他											
	木くず	159,110	134,790	79,480	151,820	86,960	75,550	51,750	18,820	12,660	10,830	9,330
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	30	30	30	20	20	50	70	40
	塩ビ(㎡)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	蛍光管(本)	0	0	0	591	0	205	0	0	100	144	0
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	30	70	110	100	40
	《小計》	159,110	134,790	79,480	152,441	86,990	75,785	51,800	18,910	12,921	11,145	9,410
産業廃棄物計		3,712,630	3,659,670	4,109,240	4,359,564	4,510,975	4,761,800	4,055,490	4,217,125	4,314,761	4,548,645	3,841,045
有価回収	段ボール(kg)	90,140	105,030	88,750	105,050	99,310	89,804	84,950	96,550	89,460	97,230	91,300
	鉄くず(kg)	7,980	7,760	5,620	6,590	6,040	5,870	8,180	8,330	6,930	6,480	5,640
	廃食油(ℓ)	16,100	13,000	13,700	11,900	4,400	7,000	10,350	16,900	4,700	950	1,800
	揚廃油(ℓ)	1,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	《小計》	115,380	125,790	108,070	123,540	109,750	102,674	103,480	121,780	101,090	104,660	98,740
事業系一般廃棄物	可燃ごみ(㎡)	107.8	107.9	103.7	104.0	105.0	110.0	111.1	102.8	121.1	117.0	118.7
	不燃ごみ(㎡)	28.1	28.0	30.9	52.0	52.5	58.0	39.0	10.0	8.4	6.7	27.8
	缶(㎡)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペットボトル(㎡)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	《小計》	135.9	135.9	134.6	156.0	157.5	168.0	150.1	112.8	129.5	123.7	146.5
総合計		3,828,145.9	3,785,595.9	4,217,444.6	4,483,260.0	4,620,882.5	4,864,642.0	4,159,120.1	4,339,017.8	4,415,980.0	4,653,428.7	3,939,931.5

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。